

特 長

- 扉がせり上がり、その重力により静かに開閉する。トイレブースや湯沸室、カウンター等多くの用途があります。
- 故障の原因となるスプリングを使っていませんから堅牢です。
- 内開、外開、左右勝手のいずれも簡単な操作でかえられます。(図A)
- 使用していない時の常時20°残しての閉扉状態(図Aハ)にしますと便器等が見えずスッキリとした仕上がりです。

使用扉

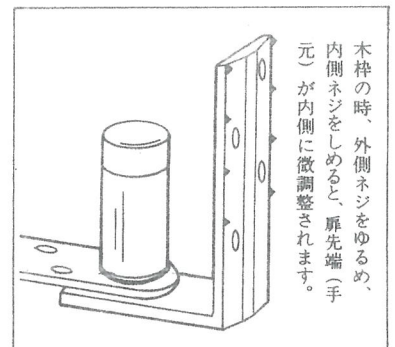
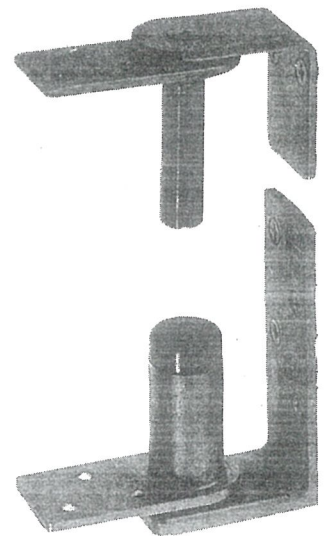
- 厚 み: 36~55㎜
- 高 さ: 図Bのとおり(スクリーン高さよりマイナス15~40㎜)
- 重 量: 20kg迄・20kg~50kgの場合、専用サポートを使用して下さい。

材 質

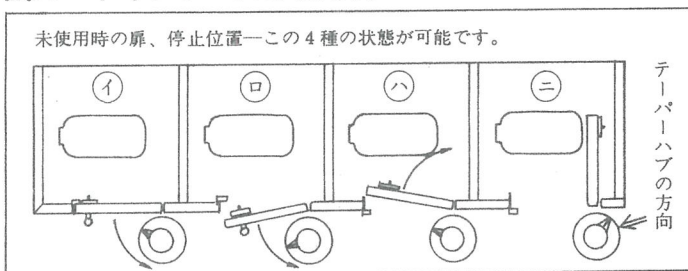
- ステンレス・スチール SUS304

取付方法

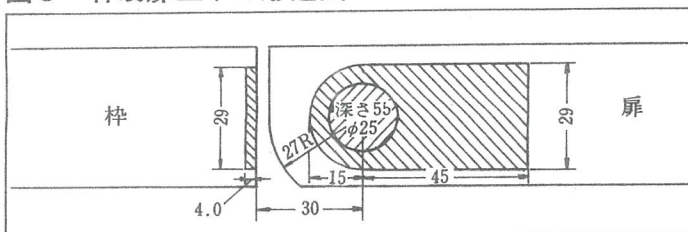
- ① 枠側下部ヒンジを図B、②寸法を確認して彫込み、取付けて下さい。芯棒が必ず垂直のこと。テーパーハブ③の凹底が扉の停止位置、図Aの何れかになる様に方向を決めて下さい。
- ② 枠側上部ヒンジを図の様に彫込み取付けて下さい。但し、取外し不要の場合は彫込みだけ行い取付けは⑤の段階で致します。芯棒は下部ヒンジと一線に垂直であること。
- ③ 扉側上下部ヒンジ図Cの要領で彫込み取付けて下さい。扉吊元は片面又は両面を図Cの様にアール加工して下さい。穴芯は枠面より30㎜で彫込みが垂直になること。
- ④ 扉は上部より先に差込み下へ落とし込んで下さい。
- ⑤ 取外し不要の場合は枠側上部ヒンジを扉に差込んでから枠に取付けて下さい。



図A トイレブースの使用例



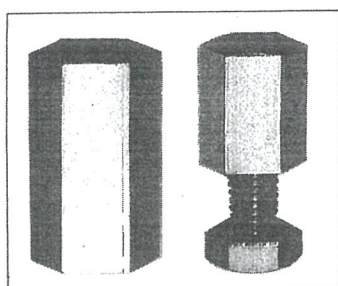
図C 枠及扉上下の彫込図



専用サポート

建具重量が20kg~50kgの場合。学校、競技場等不特定多数の人が集る場所。使用頻度の多いこの様な場所には専用サポートを使用して下さい。

- No.1 H・24~31㎜
- No.2 H・30~43㎜
- No.3 H・40~63㎜
- No.4 H・60~100㎜



図B 取付正面図

